1963年9月20日　第3種郵便物許可（毎月一日発行）

福音新聞
THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会
宣教100～110周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
（데살로니가전서 5:18）

2014年4月1日（火）　第729号
発行所　福音新聞社（1部100円）
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3202-5398
発行人/趙重來・編集人/金柄鎬
fukuinshinbun@kccj.jp（福音新聞）
shinacho2003@daum.net（担当者）

＜在日総会神学校卒業式＞
金秀明神学生1名が卒業

去る3月18日（火）東京にある在日総会神学校では、第15回卒業式が挙行された。權寧国牧師（教授）の司会で郭恩珠牧師（東京聖約教会）の祈祷後、金健牧師（関東地方会長、教授）が「神を深く知る」（コロサイ1：9-10）という題で説教した。

その後、続いて韓聖炫牧師（教務）が卒業生を紹介してから、鄭然元牧師（校長）が卒業した神学生に卒業証書を授与して、校長の訓示を行った。鄭牧師は、「神さまの愛とみ恵みとご計画の中で選ばれた牧会者は、神さまのご計画の中にいることを覚え、自分のタラントを確認して、楽しい牧会をしてください」と訓示した後に、「東京第一教会の信徒たちと林鮮享担任牧師が協力して卒業生を伝道師として招聘してくれて本当に感謝する」と挨拶した。

一人の卒業生の卒業を祝うために、過去の先輩卒業生と在校生が共に祝歌を歌い祝った後、金柄鎬牧師（総幹事）、金東洙牧師（神学校理事）、長山信夫牧師（日本基督教団東京教区東支区長、銀座教会）がそれぞれ祝辞を述べながら、卒業生を励まし、神学校の卒業式を祝福した。

最後に、卒業生が神学校に記念品を贈呈してから、理事長の林英宰長老から送られたプレゼントを卒業生に伝えた。そして、教授と来賓の紹介をした後、金君植名誉牧師（東京教会）の祝祷で卒業式が終った。

今回の卒業生の金秀明氏は、2012年度に神学校に入学し、た。2年間の神学校課程を終えて、＜執り成しの必要性＞という題で卒業論文を書いた。卒業後は、東京第一教会の伝道師として仕えることになった。

（報告：編集部）

＜青年会全国協議会＞
青年のための研修会開催

去る2月14日（金）～15日（土）にかけ、第14回青年会全国協議会（「全協」）主催の「青年のための研修会」（「青年研」）が東京教会で開催された。この「青年研」は、日本各地から集まった青年たちが「キリスト教について」、また全協代表が提示する「主題見解について自らの考えを語り合い共有する場」である。その日は、記録的な大雪に見舞われ、一時は中止の可能性さえ浮上したが、参加予定者のほぼ全員が参加し無事に行われた。参加者は32人であり、特に初参加者の若い青年が多かった。

一日目の開会礼拝は、曺泳石牧師（盤石教会）が説教した後、4つの分団に分けられた。そして金聖大全協代表が「実践者イエスに倣い、今この社会を生きる」（副題：世界を織りなす一人一人として、どう在ることを望むだろうか）という主題見解を発表した。このことについて分団内で、述べあった。その後、お互いに祈りあった。

二日目は、東京教会では早天祈祷会があり、それに参加する青年も多くいた。朝食後は、日本バプテストキリスト教・目白が丘教会から古賀公一牧師による主題講演が行われた。古賀牧師は、「キリストとの出会い」「牧師としての喜び」といった内容で講演した。そして、主題講演についても分団内で意見を分かち合った。昼食後は、2013年8月に韓国の江華島で開催された「在日・日・韓キリスト青年共同研修プログラム」の報告があった。その後の分団発表をした。

最後に、閉会礼拝も曺泳石牧師が説教して、全てのプログラムが終了した。参加者たちは、「非常に楽しかった。1泊2日では短すぎる。」「夏の修養会でまた会おう。」と言った。青年の信仰と教会生活をより充実させる青年研は来年以降も続けられていく。

＜関西地方会＞　聖歌隊連合会
岡山邑久光明園家族教会訪問

2013年11月4日(月、祝日)、関西地方聖歌隊連合会（関聖連）が岡山県長島ハンセン病国立医療所の日本基督教団光明園家族教会を訪問して合同礼拝を行った。

礼拝は、崔朱里勧士（大阪教会）の司会で始まり、関聖連の「いつの日も主に感謝」「날 살리셨네」を讃美した後、朴喜煥牧師（大阪教会副牧師）が「主のことばを聞け」（エゼキエル書37: 1～10）という題で説教した。

その後関聖連は、「매일 주만 섬기리라」の讃美をし、光明園家族教会会員である山岡憲一氏が篤き感謝のお祈りをしてから、李恩順長老（布施教会）の祈り、朴牧師が祝祷した。

引き続き、森克之長老（大阪教会）の司会で、交わり会が開かれた。先ず、家族教会の金地(かねじ)慶四郎長老により、2012年で家族教会100周年記念を迎えられたこと。そして現在、教会員は28人で、最後の一人となっても「世の終わりまであなた方とともにいる」(マタイ28:20)という御言葉を信じて、信仰を続けていると証しした。

その後、金必順牧師（関聖連顧問／堺教会）より、この訪問礼拝と交流が始まった経緯との感想が述べられ、「ふるさと」「赤とんぼ」を合唱し、金牧師の祈りで終わった。

プログラム終了後、邑久光明園総合展示催し会場を訪問することとなった。そこでは入所者や職員180人による292点の作品展示物を見学した。その後、一同はバスに乗り、難波幸矢さんに助けられ、無事帰路に就くことができた。

今回、関聖連讃美を通して家族教会の方々と礼拝や交流を共にさせて頂き、貴重な訪問となった。この訪問礼拝と交流は1996年から始まり今年で18回目を迎えた。

（報告：宮脇盛人、大阪教会）

＜関東地方会＞ 日光オリーブの里で
教役者新年会開催

去る1月27日（月）28日（火）の両日間、「日光オリーブの里」で関東地方会教役者新年会が開かれた。教役者会の総務である韓在文牧師（水戸教会）は、これまでは教育が中心だったが、今回は「教役者の健康問題と牧会のための交わり」をテーマにして新年会を準備した。まず、先に集まった牧師と師母は、ボーリング大会で交わりをした。開会礼拝では、韓牧師の司会で、張ソンジュン牧師（北上ベテル伝道所）が祈り、韓聖炫牧師（西新井教会）が説教した。

引き続き、分かち合いの時間には各自が牧会の現場で経験したこと、特に苦労したことと良かったこと、さらに健康問題について虚心坦懐に話した。驚くべきことに、牧師たちは様々な病気をもっており、困難に陥っていた。また、教会問題、聖徒たちの問題、家庭問題、子供の問題など、一般人の問題よりも多くの問題を持っていたが、その致命的な原因は、ストレスから来るものだった。その結果、数回も病院に運ばれたり、手術もしたり、その日も痛みをこらえて参加した牧師がいた。それにもかかわらず、その中で希望を見出し、神の愛を体験し、再び生きておられる神を讃美する貴重な時を持った。

これらの交わりは、過去の教役者新年会では見られなかった非常に貴重な時間であったので、お互いに多くの共感を分かち合いながら、夜遅くまで深い交わりをした。また、民間療法も共有した。特に牧会現場での成功と失敗の証では、多くの課題と勉強になった。閉会礼拝は、韓在文牧師の司会で呉聖薫牧師（甲府ウリ教会）の祈り、金根湜牧師（関東地方会副会長、ハンサラン教会）の説教で、1泊2日を恵みの中で無事に終えた。

（報告：韓在文）

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国ＹＭＣＡは皆様と共に歩みます。

東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様～200名様の会議及び宿泊研修（50名）も可能。
・スペースＹホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。
・韓国文化教室【チャング・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種こどもクラス
・ＹＭＣＡ東京日本語学校【3ヶ月～2年、短期研修】
関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャンゴ】

税　込	平　日	休・休前日
シングル	￥6,500	￥6,000
ダブル	￥10,500	￥9,700
トリプル	￥13,500	￥12,500
朝食・コーヒー￥200（宿泊者価格）		

在日本韓国ＹＭＣＡ http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/　＊会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。
東京韓国ＹＭＣＡアジア青少年センター　〒101-0064　東京都千代田区猿楽町2-5-5　☎03-3233-0611
関西韓国ＹＭＣＡアジア青少年センター　〒537-0025　大阪市東成区中道3-14-15　☎06-6981-0782

＜第 10 回 WCC 釜山総会＞

いのちの神よ、私たちを正義と平和へと導いてください

WCC 総会のプログラムは、毎日祈りで始まり、祈りで終わった。朝８時半から始まる朝礼拝（Morning Prayer）、そして夜８時半から持たれる夕礼拝（Evening Prayer）は、もっとも楽しみな時間だった。世界各地から参加しているありとあらゆる教派が、それぞれ礼拝を受け持つのである。私たちが普通に日本でクリスチャンとして生活していたら、おそらく体験する機会がないであろうさまざまな礼拝をつぶさに見ることが出来た。特に興味深かったのは諸地域の正教会による礼拝で、その中でもコプト正教会の司教たちによる讃美（なのか、それとも何かの朗読なのか、それさえもわからなかった）は、本当に印象的であった。

私自身が内に持っている「これが教会、これがキリスト教」という小さな固定概念が、快く打ち砕かれる時を持った。この地上に拡がる諸民族によってこれほど多様な礼拝文化を花開かせ、脈々とその伝統を受け継がせながら、ひとりの神を礼拝し讃美させておられる神のみこころはほむべきかな！

朝夕の礼拝において心を打たれたのは、音楽の素晴らしさだった。これまた世界各地の民族音楽の要素が入ったさまざまなスタイルの讃美が、いろいろな言語で歌われる。慣れ親しんだ讃美歌やゴスペルソングとは全く違うが、それぞれの民の神への切なる思いと敬虔さ深く感じさせるメロディーを歌いながら楽しみ、恵まれた。

個人的にもっとも興奮したのは、楽団による演奏であった。讃美をリードする聖歌隊と共に、弦楽器や管楽器、ギター、ベース、パーカッションやその他の民族楽器などが、演奏する曲によって次々に違う編成で導入される。そこから繰り出されるハーモニーは、本当に圧巻であり、私はほとんどの礼拝で楽団のすぐ正面に陣取って、その音楽を堪能した。

考えてみれば、礼拝の半分は音楽であり、讃美である。やりようによってはこれほど礼拝を魅力的にする「音楽」を、私たちの教会の中でもっとなんとか出来ないものだろうか？という新たな課題を感じた。

朝礼拝に続いて聖書勉強会（Bible Study）が毎日持たれた。「いのちの神」（God of Life）と名付けられた聖書勉強用の冊子が参加者たちに配られ、各地域・各教派の神学者によって執筆されたカリキュラムに従って、30 人ほどのグループでみ言葉の学びがなされた。この時間にはさらに７～８人ほどのグループに分けられて、教派も地域も民族も別々の人々とテーマとなるみ言葉の分かち合いをする時間があり、それは本当に貴重なひとときだった。私自身も、つたない英語を通じて、自分の置かれた在日としての境遇からとらえたそのみ言葉に対する思いを伝える機会があり、またアフリカやロシア、東南アジアやヨーロッパからの参加者の体験や思いに耳を傾けた。

「エキュメニカルな対話」（Ecumenical Conversations）と名付けられたセッションが、期間中数度にわたってもうけられた。参加者は前もって 21 のテーマの中から自分が参加したいものを選び、そのセッションに参加して発題や討論を行うことになっている。私は「周辺化された人々との連帯」をテーマとするセッションに参加したが、世界の各地域のマイノリティーの状況を分かち合おうとする 70 ～ 80 人ほどの人々（障がい者の割合が多いのが印象的だった）の熱気が部屋全体にこもっていた。

参加できた２度ほどセッションの中で、ペルーの女性発題者による「先住民の宇宙観はペルーの人々の生活の根本をなしており、それはイエス・キリストの福音と共鳴する部分を持っているが、制度化された教会はそれを否定し、排除してきた。教会は違いを受け入れるのみならず、この世のすべての多様性を支配したり同化したり操ったりすることなく、支持する主体として変化していかなければならない。イエス・キリストの救いは、非排除の視点で語られなければならない」という話が、胸を打った。（次号に続く）

（報告：許伯基牧師、つくば東京教会／総会事務局幹事）

在日韓国・帰化人・再婚希望者専門
芦屋ルツ結婚相談所
祈りと心尽くして！
出会いからご成婚までお世話いたします。
代表：崔貞淑（神戸東部教会勧士）
〒659-0012　兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町 10-35-504
TEL：0797-34-6814 ／ FAX:0797-38-6868
URLwww.ar-k.jp ／ e-mail：gen@rehoboth.jp

豊かな味、豊かな心。
妻家房
SAIKABO
代表取締役 呉 永錫（東京希望キリスト教会 長老）
四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

＜外キ協全国協議会・全国集会＞「いと小さき者の自由と尊厳」

去る1月23日（木）～24日（金）、「いと小さき者の自由と尊厳」という主題のもとで、日本キリスト教会館で外キ協第28回全国協議会が開かれた。在日大韓基督教会をはじめ各教派・団体、各地外キ連、韓国ＮＣＣの代表者が参加した。

開会礼拝（説教：李明生牧師）のあと、外キ協事務局長の秋葉正二牧師による基調提案があり、各地外キ連と各教派・団体から「2014年活動」の提案がなされた。その後、佐藤信行・ＲＡＩＫ所長から「外国人被災者支援活動」の報告があり、夜には鈴木江理子・国士舘大学准教授を招いて「改定入管法と自治体の住民政策」についての講演を受けた。

二日目は、登家勝也牧師による聖書研究、ワークショップ「外国人住民基本法」のあと、全体協議に入り、「2014年度の取り組み／人事／会計／日程」などを決定した。夜には旗手明氏（自由人権協会）の公開講演会「ヘイト・スピーチと人種差別撤廃法」を開催した。1泊2日の会議であったが、じつに多くの課題について協議し、取り組みを決定した。

1月25日（土）は、外キ協の主催で「外国人住民基本法の制定を求める第28回全国キリスト者集会」が日本バプテスト同盟東京平和教会で行なわれ、全国からキリスト者、約120人が集まった。

第一部では、カレン語、カチン語、韓国語、英語、日本語など多くの言語で讃美した。その後、「潜入・カチン戦闘地域―ミャンマー民主化の正念場」というドキュメンタリー（2013年5月26日ＮＨＫ放映）を見た。民主化が進む一方で、政府との戦闘状態が続いている少数民族であるカチン族の現状を知ることができた。そして、また多言語で聖書を読み、東京平和教会の大矢直人牧師によるメッセージを聞いた。

第二部では、東京平和教会のカチン族の移住女性とその子どもたちが民族衣装を身にまとってファッションショーが行なわれた。

そして、現在日本に住んでいるカレン族とカチン族の女性が、これまでの日本での体験や葛藤、今思っていることを証しとして語ってくれた。その後、韓国ＮＣＣ正義・平和局長の金昌賢牧師が、韓国教会からの連帯メッセージを伝えた。最後に、松浦悟郎司教（日本カトリック難民移住移動者委員会）の祈りで終えた。

第三部では、東京平和教会の信徒が用意したミャンマー料理を食べた。どの料理も驚くほど美味しく、参加者みんながその味に感動している姿がとても印象的だった。食事の後は、最後のプログラムで、カチン族の踊りをみんなで踊った。列を作り、リズムに合わせて各々が好きなように踊りながら練り歩き、交流する時間を持つことができた。カチン族の踊りでとても盛り上がり、全国集会を終えることができた。

日常の中で苦しい思いをしながら暮らしているカチン族やカレン族の移住者が、週に一度でも集まって仲間と交流することができる東京平和教会の働きの大切さを知ることができた。日本にある教会が「日本人」の教会になるのではなく、もっと多くの外国につながる人びとにも開かれた教会になることを願うとともに、さらにそのような社会をつくっていかなければいけないと強く思わされた。掲げられた主題のとおり、共に讃美し、共に祈り、共に喜ぶことができた集会であった。

（報告：金在源川崎教会／ＲＡＩＫ研究員）

2014年　教役者・長老研修会

- 日時：2014年7月13日（主日）～15日（火）
- 場所：同志社びわこリトリートセンター
  〒520-0501　滋賀県大津市北小松179／TEL：077-596-0008
- 会費：30,000円予定（交通費フール制）
- 協力：女性会、青年会、信徒委員会、歴史編纂委員会等

＜教役者お知らせ＞　李教錫牧師：韓国住所
〒638-808　경남 고성군 고성읍 서외리 72-5 번지
태영아파트 A 동 201 호
E-mail: 2kyoseok@hotmail.co.j

＜訂正とお詫び＞

1．728号（3月号）の1面　「第727号」→「第728号」
2．上同3,7面下段公告　「芦田ルツ結婚相談所」→「芦屋」
以上のことを訂正しお詫びいたします。

総会奨学生 募集案内

総会神学生として各地方会にて認定され、1年を経過した者が申請できます。書類は総会ホームページ http://kccj.jp/archives/2941 からダウンロードしてください。

- 募集人員：5名・支給金額：年額200,000円／一人
- 支給期間：1年間（受給者は、継続して新たな申請必要）
- 必要書類：①奨学金申請書　②在学証明書　③成績証明書　④履歴書　⑤堂会長推薦書　⑥総会神学校認定書（各地方会試取部）⑦各地方会会長承認書
- 書類提出先：総会事務局
- 締切日：2014年4月30日必着

在日大韓基督教会　総会長・神学考試委員長

福音新聞
THE GOSPEL NEWS

재일대한기독교회
선교 100-110 주년 표어
감사의 백년 , 소망의 백년
(데살로니가전서 5:18)

한글판

shinacho2003@daum.net (담당자)

<재일 총회신학교 >
제 15 회 졸업식 거행

지난 3 월 18 일 (화) 동경에 있는 재일총회신학교에서는 제 15 회 졸업식이 거행되었다 .

권영국목사 (교수) 의 사회로 곽은주목사 (동경성약교회) 가 기도하였다 .

그리고 김건목사 (관동지방회장 , 교수) 가 [하나님을 깊게 알 것] (골로세서 1:9-10) 이라는 제목으로 설교하였다 .

이어서 한성현목사 (교무) 가 졸업생을 소개한 후에 정연원목사 (교장) 가 졸업하는 신학생에게 졸업장을 수여하고 교장훈시를 하였다 . 정목사는 [하나님의 사랑과 은혜와 계획 안에서 선별된 목회자는 하나님의 계획 안에 있음을 명심하고 , 나의 달란트를 확인하여 즐거운 목회를 하라] 고 훈시한 후에 [동경제일교회 교인들과 임선형목사님이 협력하여 졸업생을 전도사로 청빙해 준 것에 대하여 감사한다] 고 전했다 .

한 사람의 졸업생을 축하하기 위하여 지난 선배 졸업생들과 재학생이 연합하여 축가 (나의 생명 드리니) 를 부른 뒤에 김병호목사 (총간사), 김동수목사 (이사), 長山信夫 나가야먀노부오 (일본기독교단 동경교구 동지구 지구장 , 긴자교회) 목사가 각각 축사를 하면서 졸업생과 졸업식을 축하하고 축복하였다 .

마지막으로 졸업생이 신학교에 기념품을 증정하였으며 , 이사장 임영재장로로부터 전달된 선물을 졸업생에게 전했다 . 그리고 교수진과 내빈을 소개한 후에 김군식명예목사 (동경교회) 의 축도로 졸업식을 모두 마쳤다 .

금번 졸업생인 김수명씨는 2012 년도에 신학교에 입학하여 2 년 과정을 마치면서 〈 중보의 필요성 〉 을 졸업논문을 썼으며 , 졸업 후에는 동경제일교회에서 전도사로 섬기게 되었다 .

(보고 : 편집부)

<청년회 전국협의회 >
청소년을 위한 수련회 개최

지난 2 월 14 일 (금) 과 15 일 (토) 양일간 동경교회에서 제 14 회 청년회 전국협의회 (전협) 주최로 〈 청소년을 위한 연수회 〉 가 개최되었다 . 이 연수회는 일본 각지에서 모인 청년들이 "기독교에 대해" , 그리고 전협 대표가 제시하는 "주제 견해에 대해 자신의 생각을 이야기하고 공유하는 장" 이다 .

첫째 날은 동경이 기록적인 폭설에 휩싸여서 한때 중단의 가능성마저 부상하였다 . 하지만 , 참가 예정자들이 거의 모두가 참가하여 무사히 진행되었다 . 참가자는 32 명이었으며 , 특히 처음으로 참가하는 젊은 청년들이 많았다 .

개회예배는 조영석목사 (반석교회) 가 설교한 후에 4 개 분단으로 나누어졌다 . 그리고 김성대 전협대표가 [실천자 예수를 따라서 지금 이 사회를 살아간다 (부제 : 세계를 만들어내는 한 사람으로서 어떻게 존재하는 것이 요망되는가)] 라는 주제로 견해를 발표했다 . 이에 대해 분단에서 의견 등을 교환하였으며 각자의 기도를 공유하면서 중보와 합심의 기도 시간을 가졌다 .

둘째 날은 동경교회에서 새벽기도회가 있었으므로 많은 청년들이 참가하였다 . 아침 식사 후에는 일본 침례기독교회의 코가코이치목사 (自由が丘　会) 가 주제강연을 하였다 . 코가목사는 [그리스도와의 만남], [목사로서의 기쁨] 이라는 내용으로 강연하였다 . 이어서 주제강연에 대해서도 의견을 나눴다 .

점심식사 후에는 작년 8 월에 한국 강화도에서 개최 된 〈 재일 , 일본 , 한국 그리스도 청년 공동연수 프로그램」 에 대한 보고가 있었다 . 이어서 분단발표에서는 한 사람 한 사람이 지난 2 일 동안 배운 것과 느낀 것을 발표하였다 .

폐회예배도 조영석목사가 설교하므로 모든 프로그램을 마쳤다 . 참가자들은 "매우 즐거웠다 . 1 박 2 일은 너무 짧습니다 ." "여름 수양회에서 다시 만나자" 고 했다 . 청년의 신앙과 교회생활을 보다 풍요롭게 하는 청년 연수회는 내년 이후에도 계속해 나갈 것이다 .

<관서지방회> 성가대연합회 광명원 가족교회 방문

2013 년 11 월 4 일 (월 , 휴일), 관서지방 성가대연합회 (관성연) 는 오카야마현 나가시마 한센병 국립의료거래소에 있는 일본기독교단 광명원 가족교회를 방문하여 합동예배를 하였다 .

1 부 예배는 최주리권사 (오사카교회) 의 사회로 시작되어 "언제라도 주님께 감사" "날 살리셨네" 를 찬양한 후 , 박희환목사 (오사카교회 부목사) 가 "주님의 말씀을 들으라" (에스겔 37:1-10) 는 제목으로 설교했다 . 이어서 "매일 주만 섬기리라" 는 찬양을 하였으며 , 광명원 가족교회원인 야마오카켄이치 (山岡憲一) 씨가 감사기도를 하였으며 , 이은순장로 (후세 교회) 의 기도와 박목사의 축도로 예배를 마쳤다 .

이어서 모리카츠유키장로 (森克之 , 오사카교회) 의 사회로 친교모임이 열렸다 . 먼저 가족교회의 카네지장로 (金地慶四郎) 는 [2012 년에 가족교회가 100 주년을 맞이하였다 . 그리고 현재 교인수는 28 명으로 , 마지막 한 사람이 될 지라도 "세상 끝날까지 너희와 항상 함께 있으리라" (마태복음 28:20) 라는 말씀을 믿고 , 기도와 신앙을 이어가고 있다] 고 간증했다 .

그 후 , 김필순목사 (고문 / 사카이교회) 가 이러한 방문예배와 교류가 첫 참가자 7 명에서 시작된 경위와 눈물 등의 다양한 일들을 보고한 후에 「고향」「고추 잠자리」 를 합창하고 김목사의 기도로 마쳤다 .

프로그램 후에 모리카쯔유끼 장로의 사전 검색과 개최 시간에도 은혜를 힘 입어 광명원 종합전시장을 방문하게 되었다 . 그곳에는 입소자들과 직원들 180 명에 의한 292 점의 작품들을 견학하였다 .

이번에도 가족교회교인들과 예배와 교류를 함께 하게 되어 감사하는 귀중한 방문이 되었다 . 이 방문 예배와 교류는 1996 년부터 시작되어 올해로 18 회째를 맞이하였다 .

(보고 : 宮脇盛人 , 오오사카교회)

<관동지방회> 교역자 신년회 개최

지난 1 월 27 일 (월) 28 일 (화) 양일간 닛코 올리브사토 기도원에서 관동지방회 교역자 신년회가 열렸다 . 교역자회 총무인 한재문목사 (미토교회) 는 지금까지 교육위주로 했던 모임을 목회자 간 건강문제와 목회에 대한 나눔의 주제를 가지고 신년회를 준비했다 . 먼저 모인 목사와 사모들은 볼링대회로 친목을 도모했다 . 개회예배에는 한재문목사의 사회로 장성준목사 (키타카미벧엘전도소) 의 기도 후 , 한성현목사 (니시아라이교회) 가 설교하였다 .

이어서 나눔의 시간에서는 목회현장에서 경험한 힘들었던 점과 좋았던 점을 나누고 자신들의 건강문제에 대해서 허심탄회하게 대화하였다 . 놀라운 점은 우리들과는 먼 이야기로만 알았던 각종 질병들을 모인 목사들 모두 가지고 있었으며 , 이로 인하여 목회자들이 많이 힘들어 하고 있었다 .

교회문제 , 성도들의 문제 , 가정문제 , 자녀들 문제 등 , 일반인들의 문제보다 더 많은 문제들을 가지고 있었는데 가장 치명적인 것은 스트레스에서 오는 병이었다 . 그 결과 몇 차례 병원에 실려가기도 하였으며 , 수술도 하였고 , 지금도 아픔을 참으며 참석한 교역자도 있었다 . 그럼에도 불구하고 그 안에서 희망을 발견하고 하나님의 사랑을 체험하며 하나님을 찬양하는 귀한 시간을 가졌다 .

이러한 교제는 매우 귀한 시간들이었기에 서로 많은 공감을 나누면서 밤 늦은 줄 모르고 깊은 교제의 시간을 가졌다 . 또한 민간요법들도 공유하였다 . 특히 목회현장에서 있었던 성공과 실패를 경험한 간증에서는 모두에게 많은 도전과 공부가 되었다 .

폐회예배는 한재문목사의 사회로 오성훈목사 (코후우리교회) 의 기도와 김근식목사 (관동지방회 부회장 , 한사랑교회) 의 설교로 1 박 2 일을 하나님의 은혜가운데 무사히 마쳤다 .

(보고 : 한재문)

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国ＹＭＣＡは皆様と共に歩みます。

東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24 時間営業。10 名様～ 200 名様の会議及び宿泊研修（50 名）も可能。
・スペースＹホール：200 席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。
・韓国文化教室【チャング・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種こどもクラス
・ＹＭＣＡ東京日本語学校【3 ヶ月～ 2 年、短期研修】
関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャンゴ】

税　込	平　日	休・休前日
シングル	¥6, 500	¥6, 000
ダブル	¥10, 500	¥9, 700
トリプル	¥13, 500	¥12, 500
朝食・コーヒー¥200（宿泊者価格）		

在日本韓国ＹＭＣＡ http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/　＊会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。
東京韓国ＹＭＣＡアジア青少年センター　〒 101-0064　東京都千代田区猿楽町 2-5-5　☎ 03-3233-0611
関西韓国ＹＭＣＡアジア青少年センター　〒 537-0025　大阪市東成区中道 3-14-15　☎ 06-6981-0782

<제 10 회 WCC 부산총회 > - 보고 -

생명의 하나님, 우리를 정의와 평화로 이끄소서

WCC 총회는 매일 기도로 시작하여 기도로 끝났다. 아침 8 시 반에 시작되는 아침예배 (Morning Prayer) 와 밤 8 시 반의 저녁예배 (Evening Prayer) 는 가장 기다려지는 시간이었다. 세계 각국에서 참가한 여러 교파가 각각 예배를 담당하였는데, 우리가 보통적으로 일본에서 신앙생활을 하고 있는 한 아마도 경험하기 힘든 여러 예배들을 골고루 경험할 수 있었다.

특히 흥미로웠던 것은 각 지역 정교회의 예배들이었는데, 그 중에서도 콥트 정교회 주교들에 의한 찬양 (찬양인지 낭독인지도 알 수 없었음) 은 정말 인상적이었다. 저 자신이 가지고 있었던 "이것이 교회이며 기독교이다" 라는 자그마한 고정관점이 무참하게 산산조각이 나는 시간이었다. 〈이 세상에 펼쳐져 있는 여러 민족들에 의하여 이렇게 다양한 예배문화를 꽃피우시고, 맥맥히 그 전통을 잇게 하시면서 한 하나님을 찬양하고 예배하게 하시는 하나님의 뜻이 찬송을 받을지어다 !〉

그리고 아침 저녁의 예배를 통하여 가슴이 뜨거워진 것은 멋진 음악들이었다. 세계 각지의 민족음악의 요소가 들어간 여러 스타일의 찬양이 여러 언어로 불려졌다. 우리가 익숙한 찬송가나 복음송과는 전혀 다르지만, 각 민족들이 하나님을 향한 간절한 마음과 경건함을 깊이 느끼게 하는 선율을 노래하는 모습에 즐기면서도 은혜를 받았다.

개인적으로 가장 흥분된 것은 악단에 의한 연주들이었다. 찬양을 리드하는 성가대와 더불어, 현악기와 관악기, 기타, 베이스, 각종 타악기와 그 외의 민족악기 등으로 연주하는 곡에 맞추어 다른 편성으로 도입이 되었다.

거기서 나오는 하모니는 정말 압권이었기에, 나는 거의 모든 예배에서 악단의 정면에 자리를 잡고 은혜로운 음악들을 실컷 맛보았다. 돌이켜 생각해보면 예배의 절반은 음악이고 찬양이었다. 방법에 따라서는 이렇게 예배를 매력적으로 만들어주는 "음악" 을 우리의 교회에서도 좀더 잘 사용할 수 없을까 하는 새로운 도전을 받았다.

또한 아침예배에 이어서 매일 성경공부 (Bible Study) 가 하였다. 참가자들에게는 미리 "생명의 하나님" (God of Life) 이라는 성경공부용 책자가 배포되었으며, 각 지역, 각 교파 신학자에 의해 집필된 공과에 따라서 30 명쯤 되는 그룹으로 나뉘어져서 말씀을 배우는 시간을 가졌다.

이 시간 중에 참가자들은 또다시 7~8 명쯤의 소그룹으로 모여서, 교파와 지역, 민족도 다른 사람들과 함께 주제 말씀에 대해서 의견을 나누는 시간을 가졌는데, 정말 귀중한 시간이었다. 나 자신도 서투른 영어를 사용하면서 "재일" 의 입장에 놓여진 상황에서 읽은 말씀에 대한 의견을 나누는 기회를 가졌으며, 아프리카와 러시아, 동남아와 유럽에서의 참가자들의 체험과 생각에 귀를 기울이는 시간도 가졌다.

그리고 총회기간 중에는 "에큐메니컬한 대화" (Ecumenical Conversations) 라고 명명된 섹션이 몇 번이나 있었다. 참가자들은 미리 21 개의 주제 중에서 자신이 참여하고 싶은 모임 (session) 을 선택하여 참가한 후에 발제와 토론을 하도록 되어 있었다. 나는 "주변화 된 이들과의 연대" 를 주제로 한 섹션에 참가하였는데, 세계 각 지역의 소수자들의 상황을 나누려는 7~80 명쯤의 사람들 (장애인의 비율이 많은 것이 인상적이었다) 의 열기는 대단했다.

참가할 수 있었던 두 번째의 섹션 중에서 페루 여성의 발제자는 "선주민의 우주관은 페루 사람들의 삶의 근본을 이루는 것이며, 예수 그리스도의 복음과 공명하는 부분도 있지만, 제도화된 교회는 그것을 부정하고 배제해왔다. 교회는 차이를 받아들이는 데 그치지 않고, 이 세상의 모든 다양성을 지배하거나 동화하거나 조종하는 일 없이 지지하는 주체로 변화해야 한다. 예수 그리스도의 구원은 "비 (非) 배제" 의 시점에서 논해져야 한다" 라는 말이 가슴을 쳤다.

(다음호에 계속) (보고 : 허백기목사, 츠쿠바동경교회 / 총회사무국 간사)

재일 한국인 귀화인 재혼 희망자 전문
芦屋ルツ결혼상담소
마음과 기도를 다하여!
성심성의를 결혼까지 최선을 다하겠습니다.
대표 : 최정숙권사 (코베동부교회 권사)
〒 659-0012 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町 10-35-504
TEL : 0797-34-6814 ／ FAX:0797-38-6868
URLwww.ar-k.jp ／ e-mail : gen@rehoboth.jp

豊かな味、豊かな心。
妻家房
SAIKABO
代表取締役 呉 永錫 (東京希望キリスト教会 長老)
四谷本店 : 東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

<외기협전국협의회 및 전국집회>
지극히 작은 자의 자유와 존엄

지난 1 월 23 일 (목) ~ 24 일 (금), [지극히 작은 자의 자유와 존엄] 이라는 주제로 일본기독교회관에서 외기협 제 28 회 전국협의회가 개최되었다. 재일대한기독교회를 비롯하여 각 교파와 단체, 각 지역의 외기련과 한국 NCC 대표들이 참석했다.

개회예배 (설교 : 이아키오목사) 후에 외기협 사무총장인 아키바쇼지 (秋葉正二) 목사가 기조 제안을 하였으며, 각 지역의 오기련과 각 교파와 단체에서 [2014 년 활동] 을 제안 하였다. 그 후에 사토노부유키 (佐藤信行) RAIK 소장이 "외국인 피해자 지원활동" 에 관한 보고가 있었으며, 밤에는 스즈키에리코 (鈴木江理子 · 国士舘大学准　授) 교수를 초청하여 [개정 입관법 및 지방자치단체의 주민정책] 에 대한 강연을 하였다.

둘째 날은 토우카카츠야 (登家勝也) 목사에 의한 성경연구와 워크숍 [외국인 주민기본법] 후에 전체 협의로 이어져서 [2014 년도의 대처 / 인사 / 회계 / 일정] 등을 결정하였다. 밤에는 공개 강연회가 개최되어 키슈아키라 (旗手明, 자유인권협회) 씨가 [증오연설 (헤이토스피치) 과 인종차별 철폐법] 이라는 제목으로 강연하였다. 1 박 2 일간의 짧은 일정이었지만 실로 많은 과제에 대해 협의하고 대처방안을 결정하였다.

이어서 지난 1 월 25 일 (토) 은 외기협 주최로 [외국인 주민기본법 제정을 요구하는 제 28 회 전국 기독교인 집회] 가 일본 침례교 동맹 동경평화교회에서 열렸는데 전국 각지에서 기독교인 약 120 여명이 모였다. 제 1 부에서는 카렌어, 카친어, 한국어, 영어, 일본어 등 여러 언어로 찬양을 하였다. 그 후에 [잠입, 카친 전투지역 - 미얀마 민주화의 중대 국면] 이라는 다큐멘터리 (2013 년 5 월 26 일 NHK 방영) 를 시청하면서, 민주화가 진행되는 한편, 정부와의 전투상태가 계속되는 소수민족 카친족의 현황을 공유하였다.

또한 여러 언어로 성경을 읽은 후에 동경평화교회의 오오야나오토 (大矢直人) 목사의 설교가 있었다.

재 2 부에서는 동경평화교회의 카친족 이주 여성과 그 자녀들이 민족의상을 입고 패션쇼를 열었다. 이어서 현재 일본에 살고 있는 카렌족과 카친족 여성들이 지금까지 일본에서의 경험과 갈등, 지금 생각하고 있는 것을 증언하였다. 그 후, 한국 NCC 정의평화국장인 김창현목사가 한국교회에서의 연대 메시지를 전했다. 마지막으로 마츠우라고로 주교 (松浦悟郎, 일본 천주교 난민 이주 이동자위원회) 의 기도로 마쳤다.

제 3 부에서는 동경평화교회 교인이 준비한 미얀마의 다양한 요리를 먹었는데 모든 요리들이 놀라울 정도로 맛있었음에 감동하는 참가자들의 모습이 매우 인상적이었다.

식사 후에는 마지막 프로그램으로 참가자들이 카친족의 춤을 추었다. 줄을 서서 리듬에 맞춰 각각 원하는 대로 춤을 추며 행진하고 교류하는 시간이었다. 카친족의 춤으로 매우 고조되면서 전국 집회를 마쳤다.

일상생활 속에서 고생을 하면서 살고 있는 카친족과 카렌족의 이주자들이 일주일에 한 번이라도 모여서 동료들과 교류하고 있는 동경평화교회의 사역의 중요함도 공유하였다. 일본에 있는 교회들이 '일본인' 교회가 되는 것이 아니라, 더 많은 외국과 연결된 사람들에 의한 열린 교회가 되어가기를 희망한다.

또한 그러한 사회를 만들어 나가지 않으면 안 된다고 강하게 생각하게 되었다. 금번 주제에 걸맞게 함께 찬송하고 함께 기도하고 함께 기뻐할 수 있었던 은혜로운 집회였다.

(보고 : 김재원, 카와사키 교회 / RAIK 연구원)

2014 년 교역자 장로연수회

· 일시 :2014 년 7 월 13 일 (주일)-15 일 (화)
· 장소 : **同志社びわこリトリートセンター**
〒 520-0501　滋賀大津市北小松 179 / TEL : 077-596-0008
· 회비 :30,000 엔 예정 (교통비 포함 / 지원은 추후 통보)
· 협력 : 여성회, 청년회, 신도위원회, 역사편찬위원회

〈 교역자 알림 〉 - 이교석목사 한국 연락처

사모의 지병을 치료하고 요양하기 위해 귀국.
〒 638-808　경남 고성군 고성읍 서외리 72-5 번지
태영아파트 A 동 201 호
E-mail: 2kyoseok@hotmail.co.jp

〈2014 년 3 월호 정정과 사과 〉

1. 728 호 (3 월호) 1 면 / 제 727 호→ 제 728 호
2. 상동 3,7 면의 하단광고 /「芦田ルツ結婚相談所」→「芦屋」

위와 같이 정정하며 사과드립니다.

총회 장학생 모집안내

각 지방회에서 총회신학생으로 인정받아 1 년을 경과한 학생은 신청이 가능합니다. 서류는 총회 홈페이지 (http://kccj.jp/archives/2941) 에서 다운로드 할 수 있습니다.

· 모집인원 :5 명　· 금액 : 연간 20 만엔
· 지급기간 :1 년 (수급자라도 계속해서 신청 필요)
· 서류 : 장학금신청서, 재학증명서, 성적증명서, 이력서, 당회장추천서, 총회신학교인정서 (각지방회시취부), 지방회장승인서
· 문의 / 제출처 : 총회사무국
· 마감 :2014 년 4 월 30 일 필착

재일대한기독교회　총회장 / 신학고시위원장